

えひめの歴史文化モノ語り

県歴史文化博物館から ⑬

終戦の日が8月15日であることは多くの方が知っている。その内容を現代文で要約すると、「日本は知っている方は少ないので、各国と交流を深め共に繁栄すること外交の要としてきた。この度米英と戦争に料は1941（昭和16）年12月8日に太平洋戦争が始まったことを報じた翌日付の大阪毎日新聞である。同紙は朝日新聞などと並び全国紙であった。

紙面には「米英へ宣戦布告の大詔」、「西太平洋で開戦」、「ハワイへ決死的空襲」などの大きな見出しが並んでいる。そして、中央には開戦の詔書が掲載さ

れている。米英は重慶の残存政権を支援して東アジアを乱し、平和の名のもとに東洋の覇権を握ろうとしている。次のように続いている。

12月8日 太平洋戦争開戦



太平洋戦争の開戦を報じた新聞（昭和16年12月9日付、大阪毎日新聞）＝県歴史文化博物館蔵

戦意高揚する新聞紙面

る。武力を増強して平和脅威を与えている。このまま通商を妨げ、遂に経済までは東アジアの安定に断交して日本に重大な対する長年の努力は水泡に

帰す。自存自衛のため障害を打破し、東アジアに永遠の平和を確立して日本の栄光を守る」と結んでいる。

東アジアを米英の脅威から解放することが戦争の目的とされたのである。裏面には「必勝の意気昂然」、「県民の血はたぎり、伊予路に鐵石の構え整ふ」とある。愛媛県知事は「軍部に絶対の信頼をなし、協力一致、各その職域奉公し、生産力拡充、増産奨励に鋭後防護の完璧、防空の完遂等

（専門学芸員・平井誠）
〈随時掲載します〉